

入学試験全塾生一流校合格(一流校合格率100%達成)と
 非受験学年学年末試験全科目100点満点取得達成に向けて
 - 定着のための三大「練習は不可能を可能にする」 -

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

いよいよ学年末、一年間の仕事の総まとめの時期になりました。塾生は何のために開倫塾に通塾するのか。それは、自分の行きたい学校に進学を果たすため(各自の一流校に合格するため)と、定期試験で100点満点を取り学校成績を向上させるため。この2つの理由のためです。

プロの塾講師は、この2つの全塾生の希望を一人残らず叶えなければ仕事をすると評価されません。

授業中に、テキストを解説したり、テストを実施するだけでは、この2つの結果は出ないことは皆様よくわかりと思います。では、どうしたらよいのでしょうか。

2. 定着のための「三大練習は不可能を可能にする」

(1) 授業や自習で一度うんなるほど「理解」したことを「定着のための三大練習」でスミからスミまで覚えきる、つまり身につけることが第一。

(2) 「過去問」を繰り返し、繰り返しやり直すこと、つまり問題練習することで「理解」できた問題は、問題を見た瞬間に条件反射でパッパッと正解が出るまでにし、余った時間で難しい問題に挑戦することが第二。

(3) そこで、学校の教科書や開倫塾のテキスト、問題集は必ず「6回以上」勉強し、スミからスミまでよく読み、正確に書け、問題を見た瞬間に正解が正確に書けるまで「練習、練習、また、練習」を授業時間以外に行うよう指導して下さい。

(4) 「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」を繰り返し、繰り返し行うことのみが、「学力の定着」と「偏差値の大幅UP」「100点満点取得」に直結します。

(5) 全塾生の偏差値を20以上も上昇させる他塾の塾長先生は、過去問を30回、40回やり抜くとさえ言っています。この「勉強のコツ」を全塾生に伝授し、確実にやっているかどうかを毎日確認することが、開倫塾の全校長・全講師先生の「仕事」そのものと私は考えます。

3 . おわりに - 開倫塾ニュースと塾長通信の積極的活用を -

- (1)以上のことが具体的に書き記されているのが、「開倫塾ニュース」と「塾長通信」です。
- (2)両者を単に手渡すのではなく、説明を加えた後色鉛筆や色シャープペン、カラーマーカーなどをもたせて、授業中または授業後に先生の前で熟読させ、必要なこと・大切なことにはマークをさせ、自分のものにするよう指導することも大事です。
- (3)感想文や決意文を書かせたり、話し合ったり、感想や決意を皆の前で発表させることも有用です。
- (4)「一所懸命」一つのことに向かって効率よく確実に努力をすることの大切さ、「学び方を学ぶ(Learning To Learn)」こと大切さ、つまり一度「理解」したことを「確実に身につける」こと大切さ、その具体的方法を身につけさせることは、塾生の今後の人生にとって役に立つと確信いたします。
- (5)各校舎で「一流校合格率 100 %」と「学年末テスト全員 100 点取得」を達成すれば、新学年の塾生募集は驚くほど楽になります。その時を信じて、力を合わせてがんばりましょう。校長先生が強烈なリーダーシップを発揮することを期待します。

感謝